

富山で活躍する  
「船」を調査することで  
みえてくる、  
富山湾の「いま」を調査!!



# TOYAMA 船のこども調査隊 プロジェクト リポート

“天然のいけす”と呼ばれるほど豊富な魚が生息する「富山湾」では、海洋資源調査や定置網漁、海上輸送などでたくさんの「船」が活躍しています。  
今夏、県内の小学生が「船」を通して富山湾の不思議や歴史、環境保全などに理解を深めることを目的に、「海と日本プロジェクトin富山県」の一環として「TOYAMA 船のこども調査隊プロジェクト」を実施しました。

児童25人が5チームに分かれ、漁業調査船「立山丸」や、“海の貴婦人”と呼ばれる「帆船海王丸」、富山県農林水産総合技術センター・水産研究所、伏木富山港(国際物流ターミナル)、氷見漁港などを調査しました。2日間にわたるミッションをリポートします!

## 大切な海を守る調査を体験 富山県農林水産総合技術センター・水産研究所

1日目

## 貿易の拠点潜入! 伏木富山港(国際物流ターミナル)

まず訪れたのは、滑川市にある富山県農林水産総合技術センター・水産研究所。ここでは、漁業保全のために、大切な魚を増やす技術開発や、海の環境の調査・管理が日々行われています。調査船「立山丸」に乗り込み、実際に行われている水温調査やプランクトン採集と一緒に体験してみました。これらの調査が、水産資源の動きを把握し、新しい魚を育てる技術開発にも役立っているのです。

「伏木富山港」は、国際貿易の拠点として、ロシアや韓国・中国といった国から毎日たくさんの荷物が運ばれてきます。ターミナルには、日用品や工業製品の原材料などを運んできた大きなコンテナが整然と積み重ねられていました。港湾業務艇「なごかぜ」に乗って広い港内を一周して戻ってきた後は、先ほど下をくぐった新湊大橋(あいの風プロムナード)に上り、橋の役割や構造の秘密を学びました。



数回に分けて海水を採取し、水質調査を行う



貴重なメスのカニを手に、みんな興味深々



漁業調査船「立山丸」

### 魚を守るため、海をきれいに

立山丸では、CTDという機械で水深1,000mの水温を測ったり、水深1,200mに生息する生き物を調べました。同時にゴミもたくさん落ちていました。魚の環境を守るために、ゴミは絶対に捨ててはいけません。

狩野瑞乃さん



顕微鏡でプランクトンの動きをチェック

### 船の操舵室に初潜入

立山丸の操舵室に入ってきたのは、普段は見ることができず、普段できないことを体験できたのでとても良かったです。カニを実際に触ってみて、オスとメスの違う形をしていて、メスのお腹はふくらんでいることを知りました。

千森嘉馬くん



「なごかぜ」の操舵室には特殊装置がたくさん



480mのあいの風プロムナードをみんなまで歩いた



石油や車を運ぶための大型貨物船の姿

### 大量の荷物が行き交うターミナル

伏木富山港では国際物流ターミナルに425ものたくさんの荷物があふりました。コンテナは荷物の積み下ろしが便利になるように、大きさが決まっていることがわかりました。新湊大橋には車道の下に歩道が作られていて、橋全体が地震に強い構造になっていました。

島田昌空くん

### 2色の灯台は港の目印

ターミナルでは、700tの大きなコンテナクレーンでコンテナを吊ることで荷下ろししやすいようになっています。港の入り口にある2灯の灯台は、船がわかりやすいように、右側が赤、左側が白と2色に色分けされていることがわかりました。

鎮田真凜さん

## キトキトの魚、すりと並ぶ 氷見漁港、氷見市立博物館

2日目

## マスト登りに挑戦! 海王丸パーク

早朝、セリ人の威勢のいい掛け声が響く氷見漁港へ。フラギやサワラなどのセリを間近で見学し、富山湾の魚の豊かさを実感したよ。氷見市立博物館では、氷見発祥の越中式定置網の模型や木造船を見ながら、魚を誘導する「垣網」、船に引きあげる「身網」など網の仕組みや、昔は環境にやさしいわら縄を編んで作った網を使っていたことを学びました。

帆船海王丸で船首のマスト登り(ハウスブリット渡り)、カッター訓練を体験。全員で力を合わせてミッションを達成したよ。下船後、富山湾を守るためのメッセージをまとめたり、守りたい生きものをイラストに。「白えびせんべい」(日の出屋製菓)のオリジナルパッケージの商品名とデザイン、「輝く魚の天然いけす(富山湾)は、富山の宝物」などのキャッチフレーズも考えました。



セリにかけられた新鮮な魚を間近に



氷見市立博物館の廣瀬道樹学芸員から定置網の仕組みを学んだよ



海王丸の船首、マスト登りに挑戦



海の貴婦人・帆船海王丸



伏木富山港・海王丸財団の大坂真志さんから海王丸の歴史や構造を聞きました

### わらの網が魚の栄養に

400年前から続く氷見の定置網漁は環境にやさしく、昔はわらで網を作っていて、3か月でくさるとこごなごなにして海底に沈め、魚の栄養にしたことを初めて知りました。海王丸を左手にたどると、中指がメインストリートにあたることも学んだよ。

稲垣沙也奈さん



漁港内で1日平均約20tを製氷する砕氷自動搬送システムの貯氷庫を見学

### 自然環境にやさしい定置網漁

氷見沖の定置網漁が網に入ってきた魚の2~3割しか獲らない漁法だと知りませんでした。氷見漁港では魚を新鮮なうちに出荷するため、すばやくセリが行われます。セリの声はものすごく早口でしたが、伝わっているのが驚きました。

芝田ななみさん

### 山の森林と海はつながっているよ

富山湾についてたくさん知ることができました。印象に残ったのは、森林のある山から流れる水のほろがきれい、海の環境にもよく、おいしい魚が育つこと。海王丸の価値が100億円くらいすることに驚きました。

金森翔愛さん



海王丸と新湊大橋のそばでのカッター訓練

### 命をかけた仕事

海王丸の船乗りさんは、高いマストに登ったり、波で揺れる船を操縦したりしなければならず、命をかけた仕事なんだと思いました。キャプテンを信じているからこそできる仕事。なぜ海王丸が富山湾に係留されているのかもわかりました。

大坪百花さん

### 参加したみんな

- A班: 渡辺杏樹さん(6年・射水市) 狩野瑞乃さん(6年・射水市) 近藤杏珠さん(6年・射水市) 斎藤直之介くん(5年・富山県) 島田昌空くん(5年・富山県)
- B班: 清水康右くん(6年・富山県) 角澤裕貴くん(6年・富山県) 鎮田真凜さん(5年・砺波市) 水口みくるさん(5年・砺波市) 福澤美和さん(5年・射水市)
- C班: 千森嘉馬くん(5年・富山県) 木下雄斗くん(6年・黒部市) 高橋杏奈さん(5年・射水市) 藤縄樹希さん(5年・射水市) 高木彩良さん(5年・富山県)
- D班: 山口慧人くん(5年・富山県) 土市 翼くん(5年・富山県) 芝田ななみさん(6年・富山県) 金森翔愛さん(6年・富山県) 梅澤あずささん(6年・富山県)
- E班: 高倉寿弥くん(5年・射水市) 矢倉さくらさん(5年・上市町) 四谷優志くん(5年・富山県) 大坪百花さん(5年・富山県) 稲垣沙也奈さん(5年・富山県)

「こどもたちがデザインした『日の出丸えびせんべい』。富山県内・日の出屋製菓のお店『さくら屋』などで期間限定販売! 売上の一部は、富山湾の保全活動に寄付予定。



海の学習帳で海と船を調査  
参加メンバーは、富山湾の魅力ストーリー仕立てで学ぶことができる「海の学習帳」(今年7月、県内小学5年生に配布)を活用してミッションに挑みました。



「海と日本プロジェクト」とは……  
2015年に「海の日」20周年を記念し、日本財団の主導で推進しているプロジェクト。全国で実施しており、次世代を担う子どもたちを中心として多くの方々へ海への好奇心を持ってもらい、行動を起こすムーブメントを作り出すことを目指しています。

海と日本 富山

